

令和6年度 救護施設 萬象園 事業報告

1. 月初平均100.0名(定員100名)の利用者支援を行ない、利用者の自己実現に向けた支援サービスを行った。
2. 施設事務費の改定通知があった。(令和7年2月10日、メールにて通知があった。)
3. 丸亀市及び丸亀市競艇事業部と従来通り委託契約を行った。
4. 令和6年度も居宅生活訓練事業実施施設の指定を受け、居宅生活訓練事業に取り組んだ。
5. 令和6年度も、生計困難者に対する相談支援事業(香川おもいやりネットワーク事業)、就農訓練事業(香川県の認定事業)、生活困窮者就労準備支援事業・虐待相談窓口(丸亀市との業務委託による)業務を行い、社会貢献事業に取り組んだ。
6. 地域移行支援として、警備員1名、スーパー店員1名が就労しており、継続就労を目指した支援を行った。
7. フルーツファームは、作業支援の他に、就労支援・就労訓練(就農訓練)の場として活動の用途を広げている。また「産直」への出荷も継続して行い、「育成」「収穫」「収入」と野菜作りの充実感を体感してもらっている。なお、地域交流活動の場としても本格的に活動を再開した。
8. 苦情解決委員会、ヒヤリハット委員会・虐待防止員会・美化委員会の充実を図り、「安全・健康・快適」な利用者支援の向上と、環境整備に努めた。
9. 移動図書館「かめまる号」の来園と、利用者の自主運営による図書委員活動の充実を図っている。新しい本のリクエストやDVDの寄贈を募るなど、移動図書館の活用や、図書・DVDの利用拡大に積極的に取り組んだ。
10. 令和6年10月23日、衆議員議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の不在者投票を実施。利用者91名が投票を行った。
11. 第53回 中国四国地区救護施設研究協議大会が高知市で行われ、中四国の会長施設として運営に携わった。(7月4日～7月5日:高知市)
12. 第46回 全国救護施設研究協議大会が札幌市で行われ、穂山課長補佐が永年勤続20年により全国救護施設協議会会長表彰を受賞。(10月17日～18日:札幌市)
13. 第20回 丸亀市社会福祉大会がアイレックスで行われ、高島課長が丸亀市長表彰、穂山課長補佐が丸亀市社会福祉協議会会長表彰を受賞。(10月15日)
14. 令和6年度 全国社会福祉大会が浅草公会堂で行われ、香川事務長が全国社会福祉協議会会長表彰を受賞。(11月26日)
15. 各公共団体・学校への花卉の提供、実習・校外学習・職場体験の受け入れ再開、民間避難所(福祉避難所)としての協定を継続。
16. 就労支援加算申請を行った。
17. 保護施設通所事業加算申請を行った。
18. マイクロバス購入の為、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団 施設整備等助成事業申請を行った。
19. 令和7年2月26日、救護施設に係る香川県指導監査が行われた。香川県より4名の監査官が来園し、終日監査が行われた。今回、指摘事項はなかった。